お父さん、お母さんが

伝えていますか？見せていますか？



乳幼児期に“思いやりのこころ”を親子で育む必要性

●どうして乳幼児期？

乳幼児期は、思いやりのこころを育てる基礎となる大切な時期です。
だからこそ、今、この時期から伝えていくことが必要なのです。

●親子で「育む」必要性は？

乳幼児期は、お父さん、お母さんとの関わりが子どもの人生に大きく影響を与える時期です。
子どもたちにとって一番身近なお父さん、お母さんの行動を子どもたちはよく見ています。

私たちは一人では生きていくことができません。
“共に支え合い、助け合って生きることの大切さ”
それは、私たち大人が、未来を担う子どもたちに今、
伝えていかなければならない大切なことです。
共に支え合い、助け合って生きるためには、
自分と同じように他者を大切に思うことのできる
「思いやりのこころ」を育むことが求められます。

親子（家庭）で取り組めることってどんなこと？

日常の小さな経験や学びは、子どもの「思いやりのこころ」を育むことにつながります。

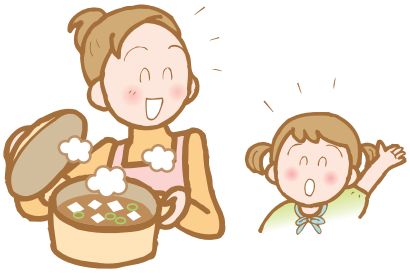
親子で育む3つの実践

実践① あいさつをしよう

つながりから生まれる「思いやりのこころ」

●親子でのあいさつは、親と子の絆づくり

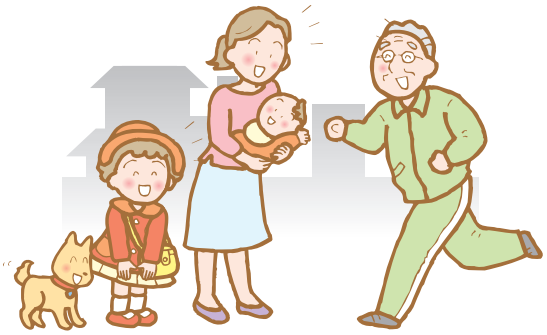
顔を合わせて、あいさつすることを心がけて、親と子の絆を深めましょう。



●地域でのあいさつは、地域社会とつながるきっかけづくり

ご近所の方、地域の方にも積極的にあいさつをしましょう。あいさつから地域でのつながりが生まれます。

※子どもにあいさつをすすめるだけでなく、
お父さん、お母さんの方から積極的にあいさつをしましょう。



POINT! ここがポイント
あいさつは、思いやりの言葉でもあります。
こころを込めたあいさつは自然と相手を思いやる行動となっています。

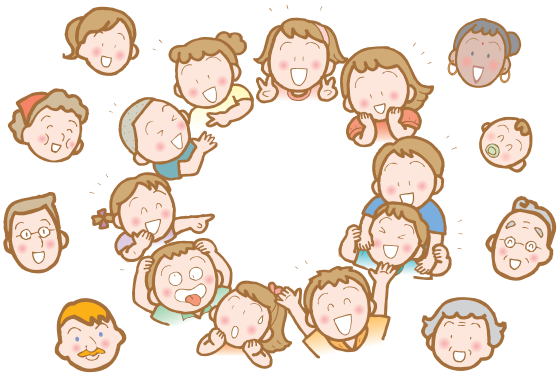
実践② みんなで仲良く遊ぼう

体験することから生まれる「思いやりのこころ」

●遊びを通して伝える

たくさんの人たちとふれあう機会をつくってあげましょう。
友だちと仲良く遊ぶこと、仲間はずれにしないことを伝えましょう。

※子どもの気持ちに寄り添い、子どもの言葉に耳を傾けましょう。

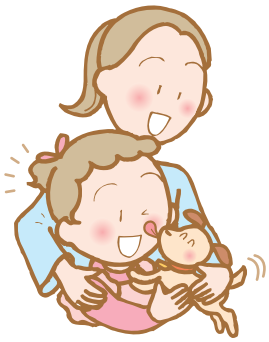


POINT! ここがポイント
乳幼児期から様々な人と関わることが、自分とは違う考えにふれ、
相手の気持ちになって物事を考えるきっかけとなります。

実践③ 命を大切にしよう

考えることから生まれる「思いやりのこころ」

親子で命について考えたことがありますか？
例えばこんなことから「命」について一緒に考えることができます。

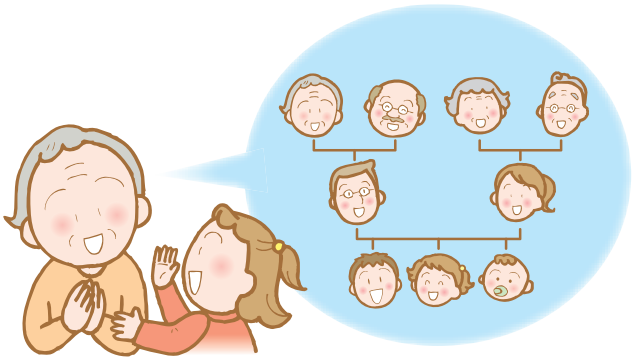


●命の大切さを考える

動物や植物、生物などとふれあう中で、命には限りがあること、限りある命を大切にして生活していくことを学ぶことができます。

●命のつながりを考える

自分たちの家族についてお話することから「おじいちゃん、おばあちゃん」「お父さん、お母さん」と「自分」の命がつながっていることを学ぶことができます。



POINT! ここがポイント 命を大切にすることや命のつながりを感じることは、自分を大切にし、他者を大切に思うことができるようになるきっかけとなります。

～親子で絵本を通じて考えてみませんか～

親子でふれあうきっかけの1つとして
『絵本』があります。
絵本は、子どもたちにとって、
感性を広げるきっかけとなります。
親子で絵本にふれるきっかけとして
『ブックスタート（★）』の事業があります。
親子でふれあいのひとときを楽しみませんか。



★ブックスタートとは…

親子が、絵本を介して、ふれあう時間を持つきっかけとなるように、0歳児健診などの機会に、「絵本」と「親子で絵本を楽しむ体験」をプレゼントしています。（各自治体で、取組方法は異なりますが、市区町村自治体や社会福祉協議会が実施しています。）

こんな想いを抱くことありませんか？

社会状況の変化

・核家族化（夫婦と子どもだけの世帯の増加）
・地域の大人が子育てに関わる機会の減少　　など



孤独
頼る人が
周りにいない…

不安
私の子育て、
これで合ってる？

負担
毎日の子育てに
いっぱいいっぱい

＊＊＊地域は親子(家庭)を 見守り 応援しています＊＊＊

子育ては、決してお父さん、お母さんだけが担うものではありません。

地域には、これから紹介するような、頑張っているお父さんやお母さんを応援する人や子育てサロン等の取組がたくさんあります。

地域とつながることでこんなメリットが…

・子どもが多くの人と関わるきっかけになる！
・子どもだけでなく、子育てをしている親同士もつながるきっかけが生まれ、悩みや不安を分かち合うことができる！
・子どもを介して、親が地域のいろいろな世代とつながることができる！（親の地域デビュー！）
・親にとっても地域で見守ってもらいながらの子育ては、自然と安心感がもてる！
・子どもが小さな頃から地域と関わることで、自分の地域に愛着がもてる！

子育て中の親と子が気軽に集える場 子育てサロン をご存知ですか？

子育てサロンとは誰もが気軽に参加できる場所で、山口県内に約60カ所※の子育て支援のためのサロンがあります。（※山口県社会福祉協議会　H26年度社会福祉協議会便覧調査）

子どもにとっては、同年齢、異年齢の子どもとのつながりができるとともに、親同士のつながり、そして地域とのつながりが生まれます。

●子育てサロンってこんなところです（体験者の声・声・声！！）

親も子どもも
お友だちが
できる

地域の
子育て支援情報が
もらえる

親同士や担い手の方に、
日頃困っている子育ての
悩みなどを話しあえる

室内なので
天候に関係なく
行ける

先輩のお母さんから
幼稚園、保育園、児童園、
小学校の情報がもらえる

★Pick Up ピックアップ

子育てサロン　子育て支援　ぴりりクラブ の活動　～周南市～

●ぴりりクラブとは

平成12年春、公園等交流の場がない周南市の山間部須々万地区で子育て支援を目的にはじまり、平成13年9月より主任児童委員が代表となり、週1回、室内公園という形で、現在も親子で楽しく遊んでいます。
子育て支援活動に際して須々万地区社会福祉協議会からの協力をいただき、民生委員・児童委員、子ども連合会、母親クラブ、幼稚園、保育園、小学校、中学校、婦人会、母子保健推進員等と子育て支援のネットワークでつながり、互いの活動が協力できる体制になっています。
痛ましい事件の耐えない昨今、信頼できる地域で子育てできるよう、努めていきたいと願っています。

●こんな活動をしています!!

通常は、「親子あそびの広場」の室内公園として、広いホールで走り回って、お気に入りのおもちゃ等で遊んでいます。
お母さん同士や担い手と、子育ての情報交換など会話も楽しんでいます。
外部団体や地区の団体との行事もしており、地域で支え合って活動を展開しています。





中学生の子育て支援へのボランティア参加



地区の母子保健推進員さんとの共催行事



地域の保育園での給食試食会へ参加



須々万地区社会福祉協議会も子育てサロンの活動に力を入れています。
須々万地区社会福祉協議会会長

周南市社会福祉協議会では、「ふれあい・子育てサロン年末年始の集い助成事業」をし、子育て支援活動を応援していただいています。

子育てサロンに参加してみたい!!

≪参加したい子育てサロンが決まっている場合≫
直接参加したい子育てサロンに連絡してもOK　※参加方法や日時等、教えていただけます
≪自分の地域にどんな子育てサロンがあるの？≫
お住まいの市町の社会福祉協議会に、まずは連絡を!!

地域の身近な相談相手 民生委員・児童委員 をご存知ですか？

民生委員は民生委員法に定められた委員で、児童委員は児童福祉法によって民生委員が兼ねることになっています。民生委員・児童委員は厚生労働大臣により委嘱され、常に住民の立場に立ち、地域のボランティアとして自主的・主体的な活動を行っています。山口県内では、3,762人※の民生委員・児童委員が活動されており、地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や心配ごとなどの相談・支援を行います。（※平成25年12月1日定数）

★民生委員・児童委員が子育てサロンの中に入っていることも…

民生委員は児童委員を兼ねており、一部の児童委員は児童に関することを専門的に担当する「主任児童委員」の委嘱を受けています。

児童委員は地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配事などの相談・支援等を行います。また、地域の子どもや子育て家庭を見守りながら状況を把握し、最も身近な支援者として、必要に応じて福祉サービス等の情報提供や関係機関の支援が受けられるよう橋渡し役も担っています。

他にも保育園・幼稚園・学校や地域の行事等にも参加し、子育て家庭に地域や住民と関わるきっかけを創出したり、児童館や放課後クラブなど児童の居場所づくりや体験活動などの健全育成に関わる活動も展開しています。

民生委員・児童委員さんの活動の様子



幼稚園で園児と餅つきをしている様子



子育てサロンで鬼役となり節分を楽しむ様子

地域の応援団 社会福祉協議会 をご存知ですか？

社会福祉協議会（社協）は福祉教育を推進しています。

社会福祉協議会って？

社会福祉協議会（社協）では**「住み慣れた地域で 誰もが 安心して 心豊かに 暮らし続けることができる 地域（まち）づくり」**をめざして、地域社会にある様々な福祉課題・生活課題の解決を住民の皆さんと一緒に取り組んでいます。

福祉教育って？

みんなが心豊かに暮らせる社会を実現するため、
『共に生きることの大切さ』『思いやりのこころ』を伝えています。
また、福祉教育は子どもだけでなく、関わる全ての人が共に学び育つことを目的としており、全ての住民を対象としています。

山口県社協主催

「福祉教育・ボランティア学習研究集会」を開催しました

地域の応援団たちも日々勉強しています！

この研究集会では、「親子で考える福祉のこころ～未就学児に対する福祉教育を考える～」をテーマとし、地域の応援団役として住民に関わる幅広い参加者と、未就学児に対する福祉教育の現状と必要性について改めて認識するとともに、今後の未就学児に対する福祉教育をどう展開していくかを考えるきっかけとしました。研究集会後は、各市町の社協職員で、今後の未就学児に対する福祉教育の展開について具体的な案を出し、思いやりのこころを育てるための面白いプログラムが考えられていました。



プログラムを発表している様子

参加者の声

- 日常の中に福祉教育は始まっていて、特別なものでないことが分かった。
- 子どもに対する親の接し方は福祉教育の根底にある気がした。
- 子どもと親だけでなく、地域全体で子育てしていこうという点が改めて大切だと感じた。

など、今後の地域での活動に積極的な意見をいただきました。

困ったときはあなたの地域の応援団を紹介します



◆山口県内市町社会福祉協議会事務局一覧表

市町社協	電話番号
下関市社会福祉協議会	083-232-2001
宇部市社会福祉協議会	0836-33-3131
山口市社会福祉協議会	083-934-3538
萩市社会福祉協議会	0838-22-2289
防府市社会福祉協議会	0835-22-3907
下松市社会福祉協議会	0833-41-2242
岩国市社会福祉協議会	0827-22-5877
光市社会福祉協議会	0833-74-3020
長門市社会福祉協議会	0837-22-8294
柳井市社会福祉協議会	0820-22-3800

市町社協	電話番号
美祢市社会福祉協議会	0837-52-5222
周南市社会福祉協議会	0834-22-2115
山陽小野田市社会福祉協議会	0836-81-0050
周防大島町社会福祉協議会	0820-74-2948
和木町社会福祉協議会	0827-52-8644
上関町社会福祉協議会	0820-62-0695
田布施町社会福祉協議会	0820-53-1103
平生町社会福祉協議会	0820-56-8000
阿武町社会福祉協議会	08388-2-2615

このパンフレットは、幼児教育の先生、社会福祉協議会の職員、子育てサロンの代表、児童センターの職員、民生委員・児童委員、保育士の人たちが関わって作成しました。

社会福祉法人　山口県社会福祉協議会

〒753-0072　山口県山口市大手町9－6　ゆ～あいプラザ山口県社会福祉会館内

TEL 083-924-2777　FAX 083-924-2792

このパンフレットは、赤い羽根共同募金の配分金により作成しました